

II 市民生活

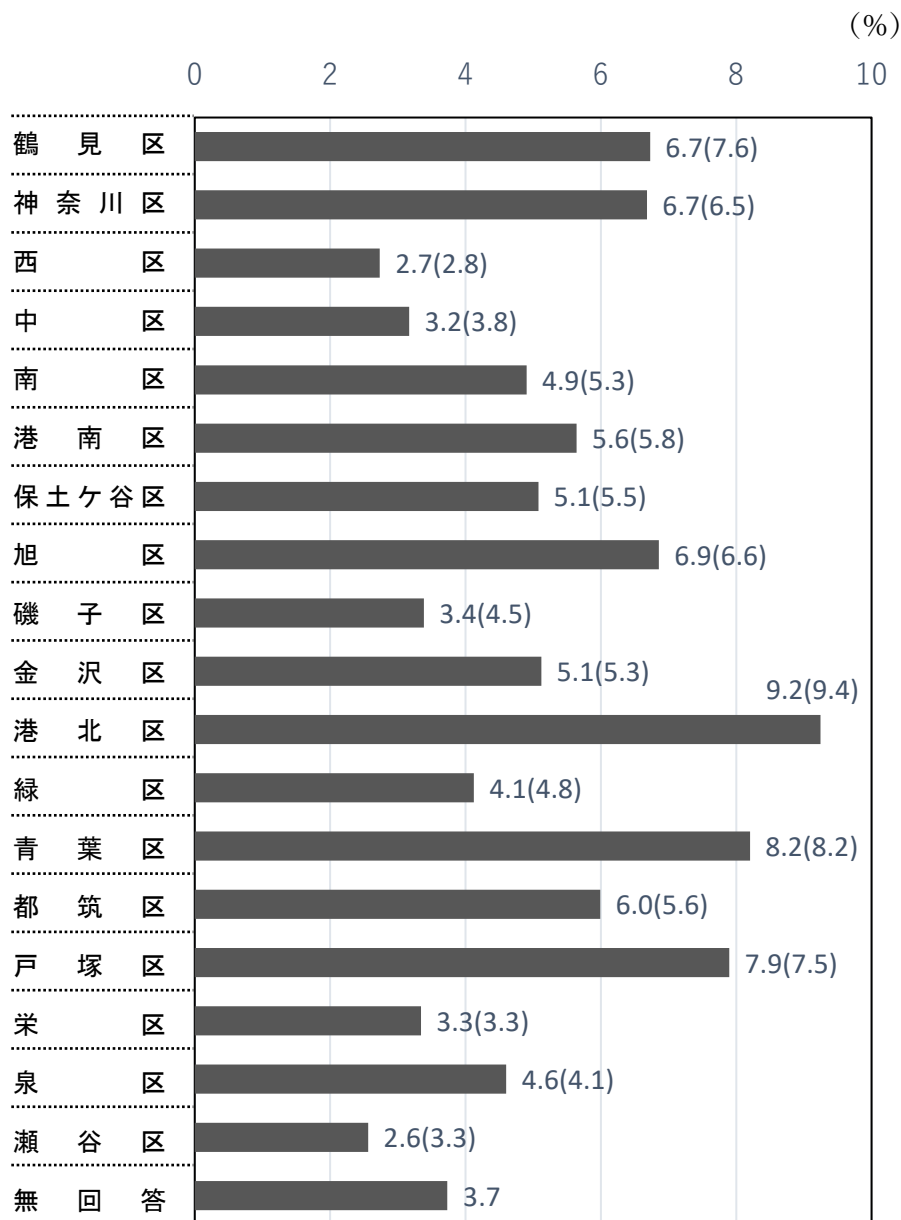
1 居住区

◇ 「港北区」が9.2%、「青葉区」(8.2%)、「戸塚区」(7.9%)、「旭区」(6.9%)で上位

問1 あなたがお住まいの地域は何区ですか。(○は1つだけ)

(n=2,304)

図表Ⅱ-1-1 居住区

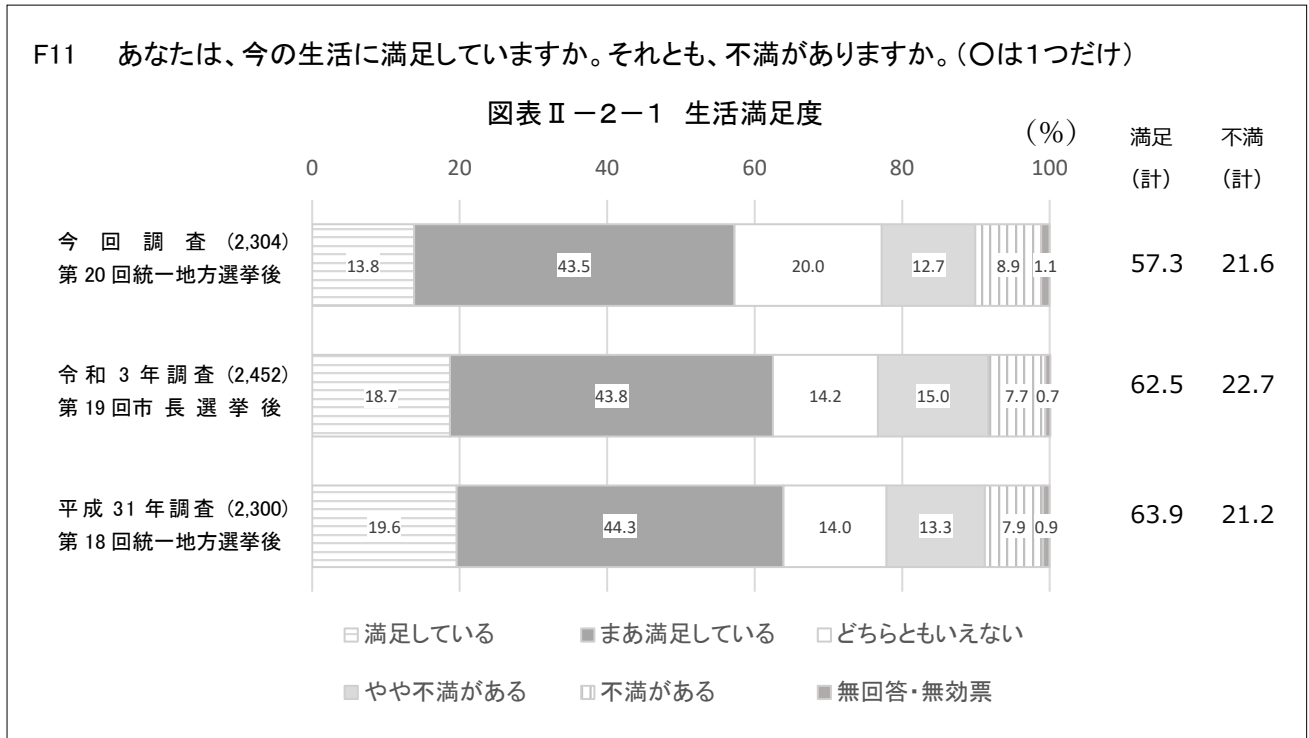


※ ()内は、横浜市全体の有権者から算出した区ごとの有権者の比率

居住区について聞いたところ、「港北区」が9.2%と最も多く、次いで「青葉区」(8.2%)、「戸塚区」(7.9%)、「旭区」(6.9%)などの順になっている。一方「瀬谷区」が2.6%と最も少なく、次いで「西区」(2.7%)、「中区」(3.2%)などとなっている。これらは、区ごとの有権者の比率(グラフ中の()内の数字)にほぼ対応している。(図表Ⅱ-1-1)

2 生活満足度

◇ 『満足』している人は 57.3%



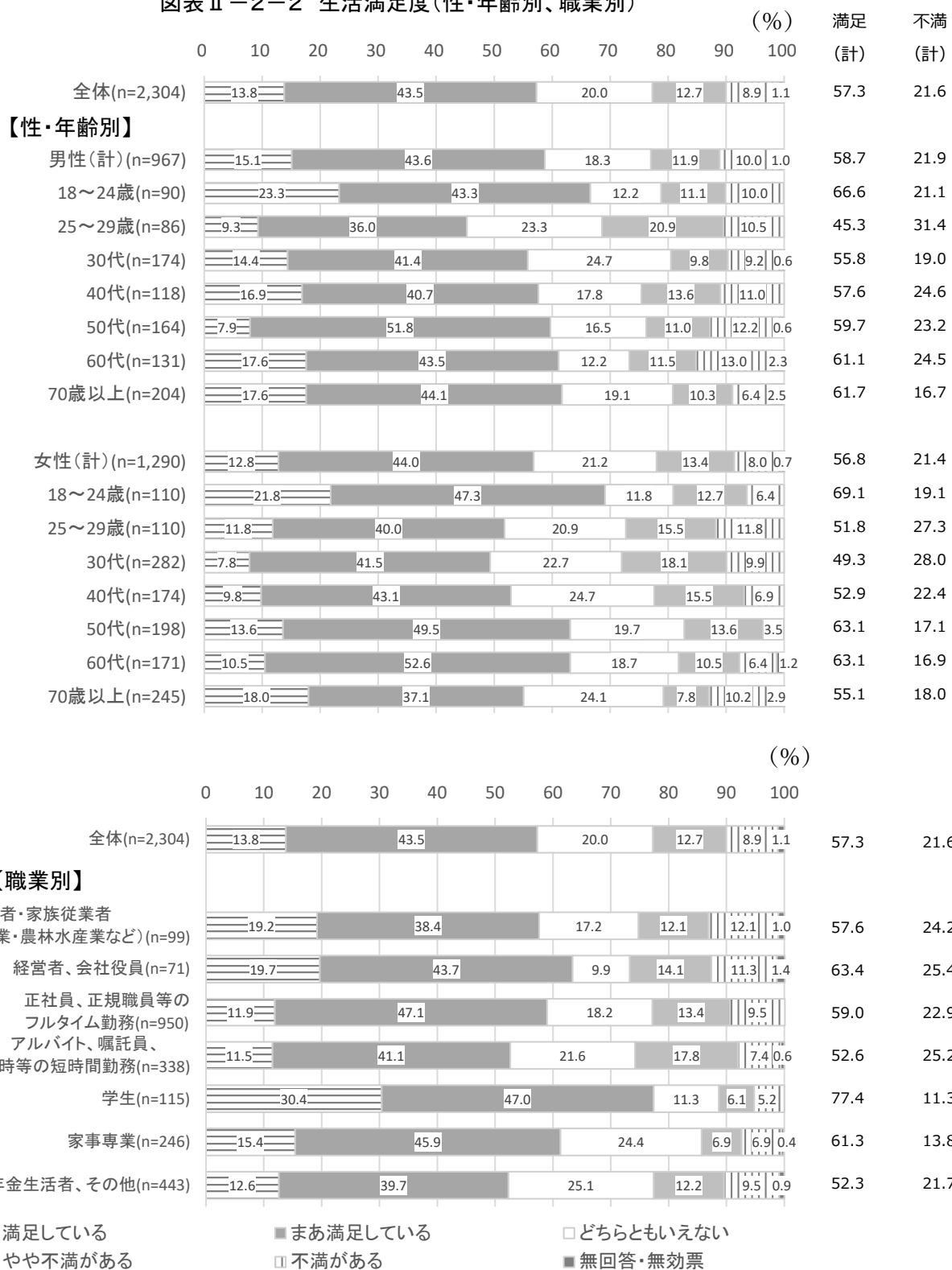
今の生活の満足度について聞いたところ、「満足している」(13.8%)と「まあ満足している」(43.5%)を合わせた『満足(計)』は57.3%となっている。一方、「やや不満がある」(12.7%)と「不満がある」(8.9%)を合わせた『不満(計)』は21.6%となっている。

令和3年調査(第19回市長選挙後)と比較すると、『満足(計)』(57.3%)は、前回(62.5%)より5.2ポイント減少している。(図表Ⅱ-2-1)

性・年齢別にみると、『満足（計）』は、『男性（計）』（58.7%）、『女性（計）』（56.8%）と5割以上となった。男性、女性ともに18～24歳がそれぞれ66.6%、69.1%と最も多くなった。『不満（計）』は、男性では25～29歳が31.4%、女性では30代が28.0%と最も多くなった。（図表Ⅱ－2－2）

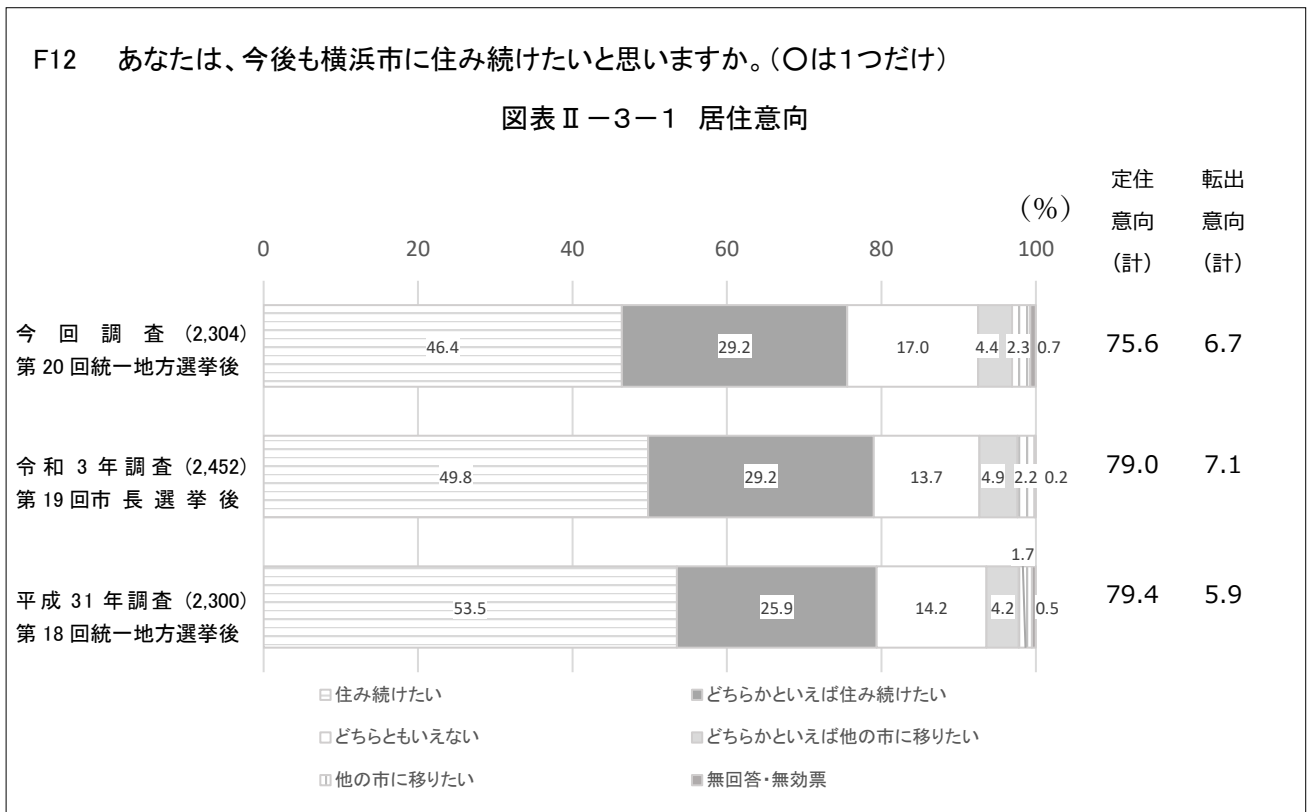
職業別にみると、『満足（計）』は、「学生」（77.4%）、「経営者、会社役員」（63.4%）、「家事専業」（61.3%）となっている。『不満（計）』は、「経営者、会社役員」（25.4%）、「アルバイト、嘱託員、臨時等の短時間勤務」（25.2%）となっている。（図表Ⅱ－2－2）

図表Ⅱ－2－2 生活満足度(性・年齢別、職業別)



3 居住意向

◇ 定住意向は 75.6%



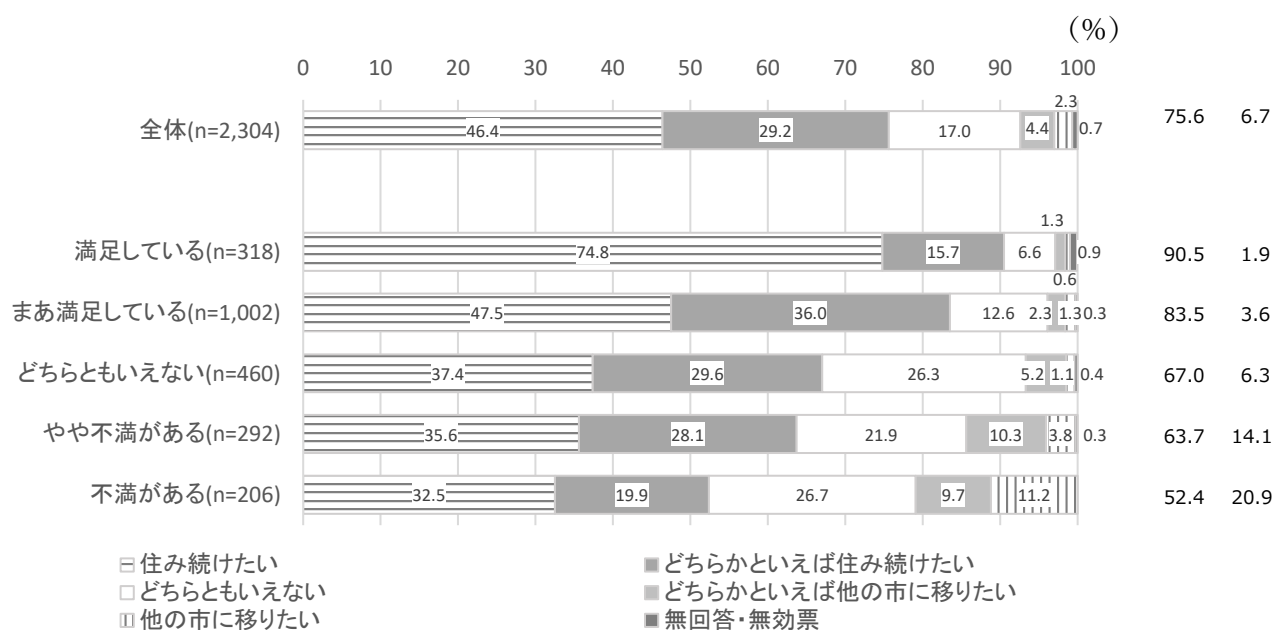
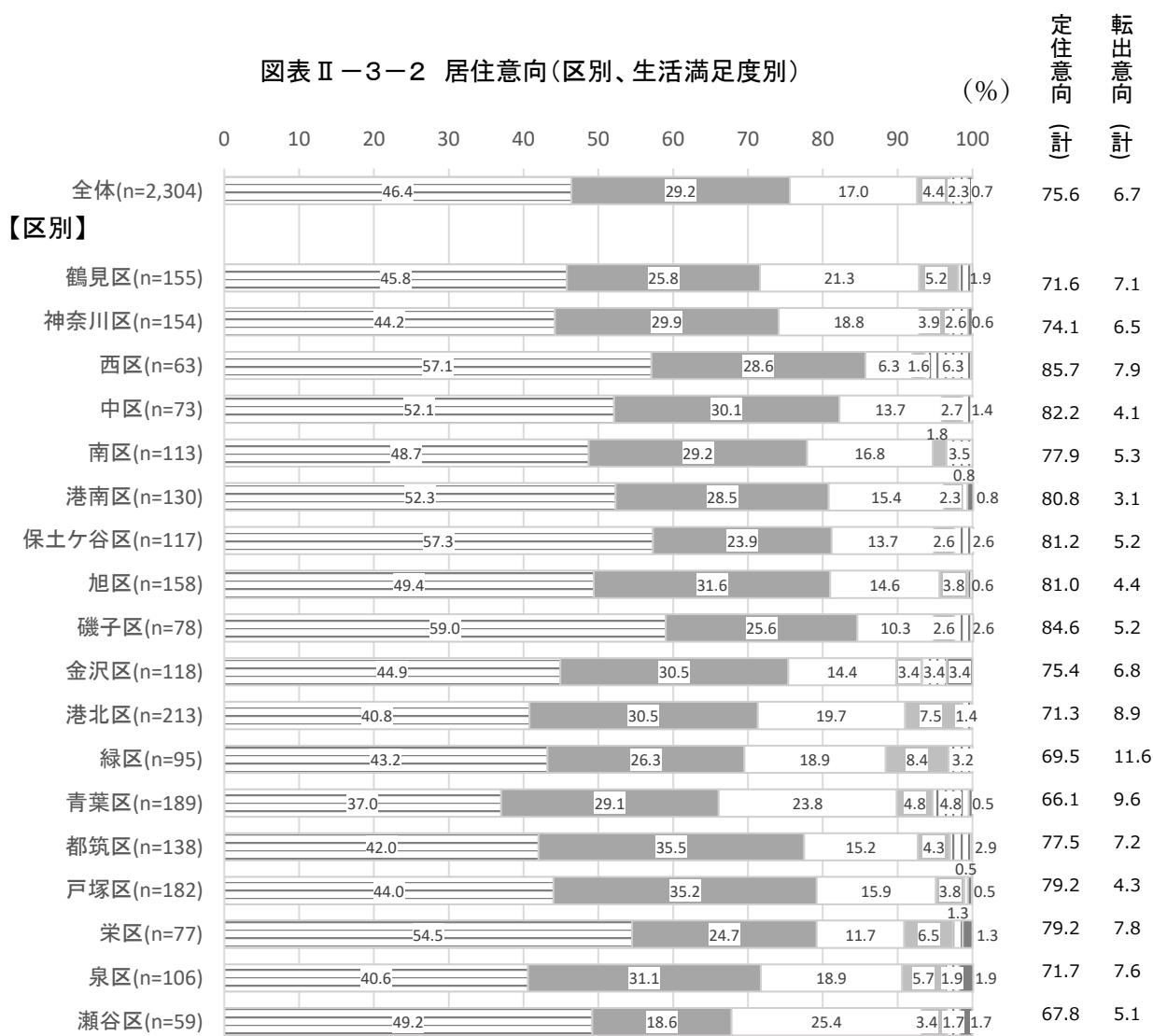
今後も横浜市に住み続けたいかについて聞いたところ、「住み続けたい」(46.4%)と「どちらかといえば住み続けたい」(29.2%)を合わせた『定住意向(計)』は75.6%となっている。一方、「どちらかといえば他の市に移りたい」(4.4%)と「他の市に移りたい」(2.3%)を合わせた『転出意向(計)』は6.7%となっている。

平成31年調査(第18回統一地方選挙後)及び令和3年調査(第19回市長選挙後)と比較すると、『定住意向(計)』はやや減少している。(図表Ⅱ-3-1)

区別にみると、『定住意向(計)』は、「西区」が85.7%で最も多く、次いで「磯子区」(84.6%)、「中区」(82.2%)と続いている。(図表Ⅱ-3-2)

生活満足度別にみると、『定住意向(計)』は、生活に「満足している」と感じている人ほど高く、「不満がある」と感じている人ほど低い割合となる傾向になっている。(図表Ⅱ-3-2)

図表Ⅱ-3-2 居住意向(区別、生活満足度別)



住み続けたい
 どちらともいえない
 どちらかといえば住み続けたい
 どちらかといえば他の市に移りたい
 無回答・無効票